

図書館員のひみつの本棚 第165回

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。
今月は今年の干支である「ねずみ」が出てくる絵本です。

『トラブルフ バラライカにみせられたねずみ』

ジョン・バーニングム／さく あきの しょういちろう／やく
童話館出版 2010年 1500円（税抜）

<お勧め年齢>

乳幼児—— 低学年☆☆☆ 中学年☆☆☆ 高学年☆☆ 中学生☆
高校—— 一般——

（☆が多い年齢の子どもにお勧めです。）

<本の紹介>

ロシアの民族楽器バラライカに魅せられたネズミの物語。

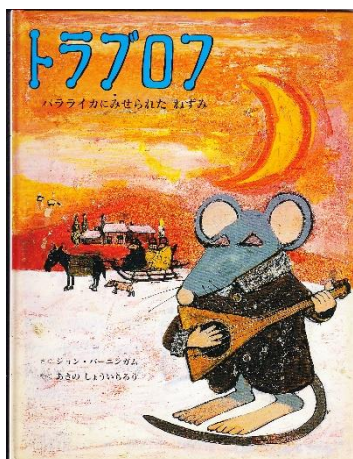
夜ごと宿屋で楽士の演奏するバラライカに耳を傾け夢中で聞いているねずみの男の子トラブルフは、木工職人のナバコフじいさんに自分用のバラライカを作ってもらいます。

ある晩、宿屋の片隅で熱心にバラライカを練習するねずみに楽士のおじいさんが気づきました。そして、おじいさんはトラブルフにバラライカを教えてくれるというのです。しかし、楽士たちの旅立ちはその夜でした。おじいさんからどうしてもバラライカを習いたいトラブルフは、家族に黙って楽士たちの旅について行くことを決意します。

<子どもに手渡す時のポイント>

バラライカを知らない子どもも多いと思いますので、読む前に、表題紙の前のページにあるバラライカの絵を見せて説明してあげるとよいと思います。絵の下に説明文もついています。少し難しいので年齢に合わせてかみ砕いて説明してあげてください。

この作品は『バラライカねずみのトラブルフ』（瀬田貞二／訳）の題で1976年にほるぷ出版より出版されています。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。